

令和2年度事業報告 【令和2年4月1日～令和3年3月31日】

1 主な事業の概要

〔林業担い手育成基金事業〕

(1) 林業就労改善推進事業

林業就業者の就労条件の改善や新規就業の促進等を図るため、社会保険、退職金共済及び任意労災保険の掛金助成を始めとする各種の助成等を行った。

(2) 林業就業者定着促進事業

林業就業者の定着を図るため、林業の中で最も苛酷な下刈作業に従事する者に対する支援を行った。

(3) 新規林業就業者確保対策事業

林業への新規就業の促進と定着化を図るため、経営者や人事担当者を対象に経営者意識の向上や人材確保に向けたスキルアップのための研修として、「林業事業体経営戦略セミナー」を実施した。

・開催日 令和3年3月5日（金）

・場 所 かがしま県民交流センター 大研修室第1

（演題）第一部 「10年後の組織のあり方を考え、目の前の組織を変えていく」
～ 組織の基盤整備は幸せにつながる第一歩 ～

第二部 「班長の役割：班長に課しているタスク・班長育成」
～ 温湯森林組合の取り組み ～

（講師） FOREST MEDIA WORKS（株） 檜崎 達也 氏

(4) 林業担い手育成事業（簡易架線技能者養成研修）

素材生産の生産性向上や低コスト化により事業体の収益性の向上を図り、林業就業者の安定的確保に資するため、県、鹿児島大学と連携し、スイングヤーダを利用した簡易架線技能者養成研修を実施した。

・開催日 令和2年10月15日（木）

「高性能林業機械作業システムの効率的運用」
～ スイングヤーダを用いた伐倒同時集材 ～

・場 所 藤川山林株式会社 社有林（薩摩川内市東郷町）

・受講者 6事業体の職員10名（やまびこ農林，岩崎木材工芸，西林業，始良西部森林組合，小林林業，藤川山林）

(5) 特認事業（かごしま林業の魅力発信ツアー）（新規）

県内の実業系高校の1年生を対象に、林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、地元での林業就業を促進するため、以下の3校においてバスツアーを実施した。

- ①（実施校）伊佐農林高等学校
（開催日）令和2年12月4日（金）
（行程）伊佐農林高校 → 伐採現場（関白陣） → ワイテックさつまセンター（木材加工施設）
- ②（実施校）鹿屋農業高等学校
（開催日）令和2年12月14日（月）
（行程）鹿屋農業高校 → 伐採現場（輝北市成） → 外山木材（木材加工施設）
- ③（実施校）薩南工業高等学校
（開催日）令和3年2月9日（火）
（行程）薩南工業高校 → 伐採現場（母ヶ岳） → 南薩木材加工センター（木材加工施設）

(6) 専任アドバイザー派遣事業

高性能林業機械作業の効率化に資するため、専任アドバイザーによる林業事業者への現地指導を行った。

- ・事業体数 22 事業体，指導日数 140 日，対象箇所数 177 箇所

〔林業労働力確保支援センター事業〕

(1) 森の研修館かごしま運営管理事業

「森の研修館かごしま」の指定管理者として、同施設の適切な運営・管理に努めるとともに、林業への就業希望者を対象とした体験学習及び特別教育講習や、労働安全衛生法に基づく技能講習等を実施した。

- ・新規林業就業推進事業（鹿児島きこり塾）受講生
入門 12 人，専門 8 人（研修日数 延べ 14 日）
- ・林業技術者育成（技能講習・特別教育等）受講生
183 人（研修日数 延べ 57 日）

(2) 各種研修

「緑の雇用」事業により、新規就業者が基本的な技術を習得するための集合研修を段階的、体系的に実施するとともに、林業技術者育成事業により、高性能林業機械の操作習熟を図るための実践的な研修を行うなど、林業技術者の育成支援に努めた。

- ・ 「緑の雇用」事業の受講生 136人（研修日数 96日）
- ・ 林業技術者育成事業（新規）の受講生 18人（研修日数 延べ9日）

(3) 新規林業就業者確保対策事業

林業への新規就業の促進を図るため、関係機関と連携しながら新規学卒者やU・Iターン希望者等を対象に、林業のPRや就業支援フェアの開催等を行うほか、WEBサイトを活用し、林業の魅力やPRする情報や林業就業に役立つ情報を発信した。

(4) 新規林業就業推進事業（新規）

高校生及び保護者等に林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、就業意識を高めるため、林業関係者との交流の場となるイベントを開催した。

また、林業就業希望者や林科系高校生を対象に、就業前におけるインターンシップとして、県内の林業事業体での実践的な研修を実施した。

- ・ イベント開催 1回
- ・ インターンシップ 一般 3人（研修日数 3日）
高校生 5人（研修日数 4日）

(5) 林業雇用改善の促進と新規就業の支援

林業事業体における就業条件の改善を図るため、アドバイザーによる助言・指導を実施するとともに、雇用情報の収集・提供に努めた。

また、林科系高校生を対象に、林業への就業意識の明確化、就業の円滑化を促進するため、林業就業支援講習を実施した。

- ・ 巡回指導 延べ20回
- ・ 林業就業支援講習 鹿屋農業高校 17人、伊佐農林高校 22人

(6) 森林ボランティア技術研修

（公財）かごしまみどりの基金が実施する「森林ボランティア技術研修」を一部受託し、森林ボランティアに対し、安全衛生教育講習等を実施した。

- ・ 刈払機 74人、チェーンソー 53人（研修日数 延べ13日）